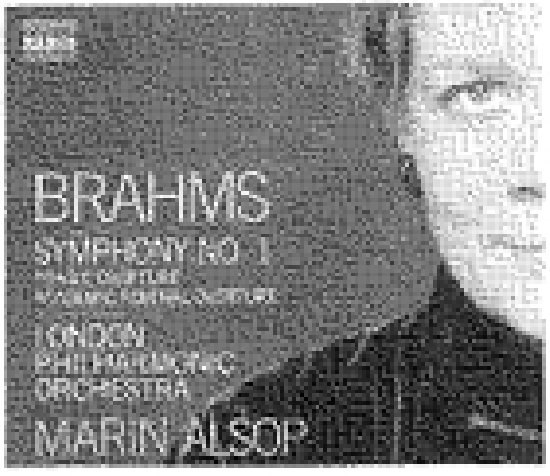
■ブラームス：交響曲第1番／悲劇的序曲／大学祝典序曲



マリン・オールソップ指揮ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団
［ナクソスⒹ8.557428］
オープン価格

宇野功芳●*Koho Uno*

マリン・オールソップは女性指揮者だが、このブラームスはいただけない。迫力に乏しいのは仕方がないとしても、オーケストラのひびきがにごっているし、アンサンブルは乱れ、立体感がなく、何をいいたいのかがまったくわからない。批評家泣かせだ。

神崎一雄●*Kazuo Kanzaki*

［録音評］　この盤で印象的なのは、本レーベルのオーケストラ録音としては常の軽く上品なサウンドとは違い、重厚で力強さ溢れるサウンドの録音であること。高域に華やかさはあるが低重心サウンドが、それを包み込んでいる。基本的にはオーソドックスな収録と言える。ワトフォードのコロシアムでの、２００４年1月、ＢＢＣや独立系レーベルでの活躍が目覚しいＴ・ハンドリーがプロデューサー&エンジニアで収録。

〈90、93〉